

学校法人多摩美術大学の2005年度(平成17年度)の事業報告をとりまとめましたのでご報告申し上げます。

1.事業の概況

いわゆる「全入時代」がいよいよ来年2007年に迫る中、大学を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。昨年の4年制私立大学542校のうちほぼ3割にあたる160校が定員割れを起こしており、入学者が定員の7割に満たないところが52校(約1割)に達しています。大学の淘汰が現実のものとなる状況を受けて、私立学校法が改正され、ガバナンス機能の強化が求められています。同時に、学校教育法も改正され、今年度から第三者評価機関による認証評価が義務付けられました。

また一方で、グローバル化の波を受けて、大学の国際競争力の強化の一環として、各大学の特色ある取組に対して、重点的な財政支援体制が構築されつつあり、いわば各大学の教育・研究のレベル・アップにおいても競争原理が導入されようとしています。

こうした状況のもと、大学の二極化が始まっています。各大学は新しい時代を先取りしようと、学部学科を再編成し、質の高い学生を集め、さらに大きな役割を果たす大学を目指し、生き残りを賭けた競争が始まっています。

本学は、質の高い学生を集め、時代を先取りした教育を進めるため、建学の理念に基いて、様々な改革に取り組んでまいりました。

大学改革の推進

私立学校法の改正に基づき、ガバナンス機能を強化するため、寄付行為の変更を行い、認可されました。

また、大学基準協会の加盟審査を目指して、全学を挙げて取り組んでいます。その一環として、美術学部入学定員を七百二十二名から八百名へ、大学院デザイン専攻を十八名から三十五名への定員増を申請し、認可されました。そして、大学全入と国際化の時代に積極的な対応をするため、入試課と国際交流室を設置しました。

さらに、産学共同研究をはじめとする本学の特色を生かした研究・教育に取組み、特色GP、現代GP、クレストなどに採択されています。

各部門における主な報告は以下の通りです。

企画広報部・・・広報活動の見直し。小中学生を対象とする「学びの支援フォーラム」に他大学18校とともに参加。

教務部・・・入試課、国際交流室の設置。基準協会加盟申請の推進。特色GP、現代GP、クレストなど研究支援への取組。Web履修の実施。

学生課・・・奨学金等の拡充、学生の地域交流への参加、留学生による語学講座の実施。

就職課・・・意識改革の徹底。進路指導の強化、企業説明会の充実化、教員との連携を強化。

造形表現学部事務部・・・社会人学生の1年生を対象とする授業料の減免を実施。

図書館・・・利用者サービスの充実(開館時間延長、開架大型書架の増設等)。新図書館への対応。

美術館・・・年間8本の企画展。「加山又造」展、「創立70周年記念ミニプリント・トリエンナーレ」展、「若林奮」展など。

総入館者数:10,410人(学生:980人)。博物館実習:71日間で実習生84名。

メディアセンター・・・20年間の産学共同の成果を東京国際フォーラムで行った(来場者5000人超)。LAN回線を光ケーブルに交換。映像編集ソフトのワークショップ開催。写真および工作機械の各種講習会の充実。

生涯学習センター・・・連続対談シリーズ「八十八庵」、デザイン系講座を新設。年間127講座、受講生数4,453名。

管理運営面の改革推進

大学運営 私立学校法の一部改正にともない、寄付行為の変更を行った。

施設整備 八王子キャンパス新図書館、芸術学科・情報デザイン棟工事に着工。

八王子キャンパス共通教育センター3・4階部分の改修工事完了。LL教室等の改修。

八王子キャンパスデザイン棟・工作工房間ガラス屋根設置、石彫棟上屋・土間工事、防球ネット工事。

その他

当期に行った主な事業

創立70周年記念事業(記念式典・祝賀会、ホームカミングデイ、寄付金募集)

平成17年10月に本学創立70周年記念式典・祝賀会を挙行。同時に本学では初めてのホームカミングデイを開催。当日は1300人を越えるOBが参加。各学科の企画による講演会、展示、講評会、ワークショップ、演劇・映像の上演などが行われ、卒業生の松任谷由実、竹中直人各氏もコンサートや映画上映を行った。また、この機会に記念事業として寄付金を募集した。

第三者評価への取組

・昨年度の自己点検・評価への全学での取組みに続き、平成19年に大学基準協会による第三者評価(協会加盟申請)を受ける予定。

校舎等建設関係

・平成16年11月完成の八王子キャンパス新本部棟に引きつづき、10月より八王子キャンパス新図書館、芸術学科・情報デザイン棟工事に着工。平成19年2月竣工の予定。

・平成17年9月に八王子キャンパス・デザイン棟・工作工房間のガラス屋根設置、石彫棟上屋・土間工事、グラウンドの防球ネット工事完了。

改修工事関係

・同じく9月に八王子キャンパス共通教育センター3・4階部分の改修工事完了。LL教室、AV設備の改修等。

組織変更

・大学全入時代、グローバル化に対応するため、教務部に新たに入試課及び国際交流室を設置。

人事研修関係

・管理職・一般職の階層別研修を実施し、職員の意識改革を図った。

平成17年度予算の執行状況

当期の予算執行状況について、概要を報告します。なお、金額は千円未満を四捨五入して表示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告します。

資金収支計算総括表

(収入の部)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	7,734,500	7,829,026	94,526
手数料収入	290,600	277,592	13,008
寄付金収入	30,000	31,042	1,042
補助金収入	462,700	601,827	139,127
資産運用収入	63,200	79,948	16,748
資産売却収入	2,000,000	948,998	1,051,002
事業収入	58,500	85,311	26,811
雑収入	183,450	241,251	57,801
前受金収入	2,701,000	3,398,863	697,863
その他の収入	2,640,320	1,434,383	1,205,937
資金収入調整勘定	3,392,714	3,473,874	81,160
当年度資金収入合計(A)	12,771,556	11,454,367	1,317,189
前年度繰越支払資金	8,868,587	8,868,587	0
収入の部合計	21,640,143	20,322,954	1,317,189

入学志願者数が見込みを下回ったことにより予算額を下回りました。

70周年記念事業資金として3月/末日現在で法人64件、個人727件の方から総額30,792千円の募金および福沢一郎記念財団から奨学寄付金をいただきました。

私立大学経常費補助金522,426千円その他、大学改革推進等補助金「特色ある大学支援プログラム」と「現代的教育コース取組支援プログラム」および私立学校施設整備費補助金や政府開発援助外国人留学生修学援助費補助金の交付により予算を大きく上回りました。

短期有価証券による資金運用ができず予算額を下回りました。

70周年記念事業<ホームカミングデーや記念式典>関係の経費が予算を上回りました。

新図書館や新校舎建築の着工の遅れに合わせて工事代金の支払も遅れ予算額との差が生じました。

多摩美術大学奨学金の原資の一部である受取利息を増加させるため、長期定期預金預入を4億円増額しました。減価償却引当預金を10億円設定しました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,921,000	3,756,737	164,263
教育研究経費支出	1,522,400	1,398,502	123,898
管理経費支出	386,000	353,677	32,323
借入金等利息支出	137,000	136,908	92
借入金等返済支出	595,400	595,390	10
施設関係支出	3,074,700	1,734,565	1,340,135
設備関係支出	306,700	289,928	16,772
資産運用支出	4,500,000	4,899,038	399,038
その他の支出	196,320	228,498	32,178
予備費	274,300	—	274,300
資金支出調整勘定	183,866	283,397	99,531
当年度資金支出合計(B)	14,729,954	13,109,846	1,620,108
次年度繰越支払資金	6,910,189	7,213,108	302,919
支出の部合計	21,640,143	20,322,954	1,317,189

当年度資金収支差額(A)-(B)	1,958,398	1,655,479	302,919
------------------	-----------	-----------	---------

(2)消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告します。

消費収支計算総括表

(消費収入の部)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	7,734,500	7,829,026	94,526
手数料	290,600	277,592	13,008
寄付金	30,000	34,408	4,408
補助金	462,700	601,827	139,127
資産運用収入	63,200	79,948	16,748
事業収入	58,500	85,311	26,811
雑収入	183,450	241,251	57,801
帰属収入	8,822,950	9,149,363	326,413
基本金組入額合計	2,714,990	2,649,369	65,621
消費収入の部合計	6,107,960	6,499,994	392,034

70周年記念事業資金募金その他、現物寄付金として自動体外式除細動装置やPC関連機材をいただきました。

国債や政府保証債などを中心に長期債券運用や長期定期預金運用を増加させました。

産学共同の受託研究収入が増加し予算を上回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	3,968,400	3,705,896	262,504
教育研究経費	3,211,100	3,174,810	36,290
(うち減価償却額)	1,688,700	1,775,144	86,444
管理経費	504,400	471,996	32,404
(うち減価償却額)	118,400	118,319	81
借入金等利息	137,000	136,908	92
資産処分差額	41,500	38,276	3,224
予備費	0	0	0
消費支出の部合計	7,862,400	7,527,886	334,514

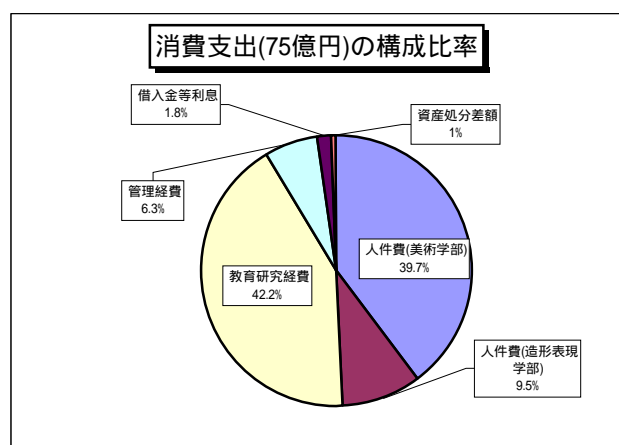
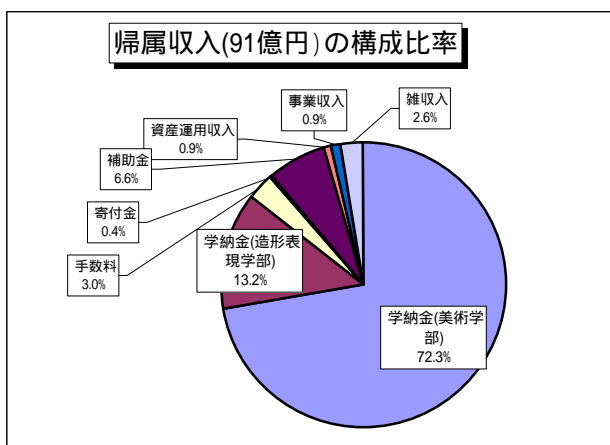
教育研究用機器備品およびその他の機器備品のうち電子機器や光学機器の耐用年数を10年から5年に変更したことにより減価償却額が予算額を上回りました。

上記の結果、帰属収入は326百万円予算を上回り、帰属収支差額も661百万円上回り帰属収支差額比率は17.7%になりました。これは次年度以降も継続される施設整備計画の資金として充当されず。当年度の消費支出超過額は1,028百万円とH14年度から4か年連続の支出超過となり、その繰越消費支出超過額は3,094百万円になりました。中長期的には消費支出超過額を解消し消費収支の均衡が図られる運営をめざします。

帰属収支差額	960,550	1,621,477	660,927
帰属収支差額比率	10.9%	17.7%	
当年度消費支出超過額	1,754,440	1,027,892	
前年度消費支出超過額	2,066,547	2,066,547	
翌年度繰越消費支出超過額	3,820,987	3,094,439	

注1 帰属収支差額 = 帰属収入 - 消費支出

注2 帰属収支差額比率 = 帰属収支差額 ÷ 帰属収入 × 100



(3) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減を報告します。

貸借対照表

(資産の部) (単位:千円)

科目	H17年度末	H16年度末	増減
固定資産	50,648,394	47,554,848	3,093,546
有形固定資産	38,219,598	38,124,640	94,958
その他の固定資産	12,428,796	9,430,208	2,998,588
流動資産	7,488,416	9,384,007	1,895,591
合計	58,136,810	56,938,855	1,197,955

八王子キャンパス = 土地 - 北側駐輪場隣接地 608㎡購入、建物 - 共通教育センター3F・4F改修、構築物 - デザイン棟ガラス屋根設置他。
上野毛キャンパス = 建物 - 2号館改修、構築物 - 中庭照明増設および機器備品・図書の購入などにより有形固定資産は増加しました。

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目	H17年度末	H16年度末	増減
固定負債	6,271,719	6,917,950	646,231
流動負債	4,458,054	4,235,344	222,710
計	10,729,773	11,153,294	423,521
第1号基本金	47,628,567	45,683,198	1,945,369
第2号基本金	2,200,000	1,500,000	700,000
第3号基本金	233,910	233,910	0
第4号基本金	439,000	435,000	4,000
計	50,501,477	47,852,108	2,649,369
消費収支差額	3,094,440	2,066,547	1,027,893
負債、基本金、消費収支差額の部合計	58,136,810	56,938,855	1,197,955

国債を中心とする長期有価証券の購入や長期定期預金による運用、および将来見込まれる建物などの更新や補修のために減価償却引当預金への振替などによりその他の固定資産は増加しました。

現預金から施設整備資金引当預金、減価償却引当預金への変更などにより流動資産は減少しました。

借入金の返済により負債は減少しました。

(参考)

正味資産額	47,407,037	45,785,561	1,621,476
正味資産 = 資産 - 負債			
減価償却額の累計額	9,806,023	9,118,662	687,361
基本金未組入額	999,327	1,562,378	563,051

平成17年度自己資金による固定資産の新規購入や過年度の固定資産購入にかかる借入金の返済額相当を基本金へ組みました。

貸借対照表についてH15年度～H13年度を報告します。

(資産の部) (単位:千円)

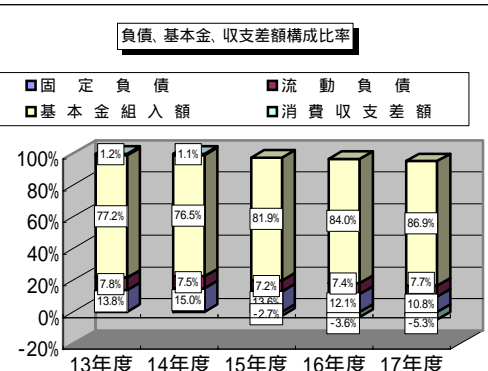
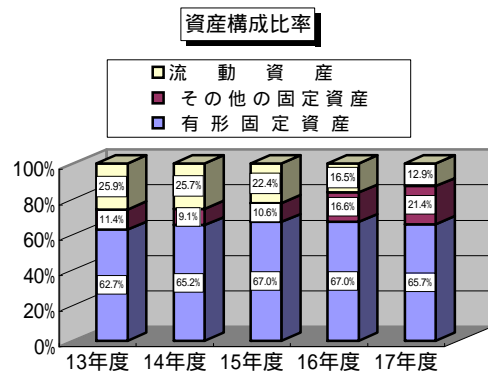
科目	H15年度末	H14年度末	H13年度末
固定資産	42,753,426	39,421,405	36,522,160
有形固定資産	36,902,022	34,579,140	30,918,034
その他の固定資産	5,851,404	4,842,265	5,604,126
流動資産	12,329,549	13,616,632	12,792,956
合計	55,082,975	53,038,037	49,315,116

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目	H15年度末	H14年度末	H13年度末
固定負債	7,505,837	7,932,344	6,804,440
流動負債	3,947,212	3,966,078	3,841,875
計	11,453,049	11,898,422	10,646,315
第1号基本金	42,984,571	38,962,864	35,575,102
第2号基本金	1,500,000	1,000,000	2,000,000
第3号基本金	212,734	212,734	112,734
第4号基本金	435,000	401,000	401,000
計	45,132,305	40,576,598	38,088,836
消費収支差額	1,502,379	563,017	579,965
負債、基本金、消費収支差額の部合計	55,082,975	53,038,037	49,315,116

(参考)

正味資産額	43,629,926	41,139,615	38,668,801
正味資産 = 資産 - 負債			
減価償却額の累計額	8,092,860	7,028,168	6,135,118
基本金未組入額	2,015,642	2,649,576	1,480,491



(4) 財務比率 < 平成11年度から平成17年度 >

芸術系平均値は、日本私立学校振興・共済事業団編「今日の私学財政」平成17年度版より算出しました。

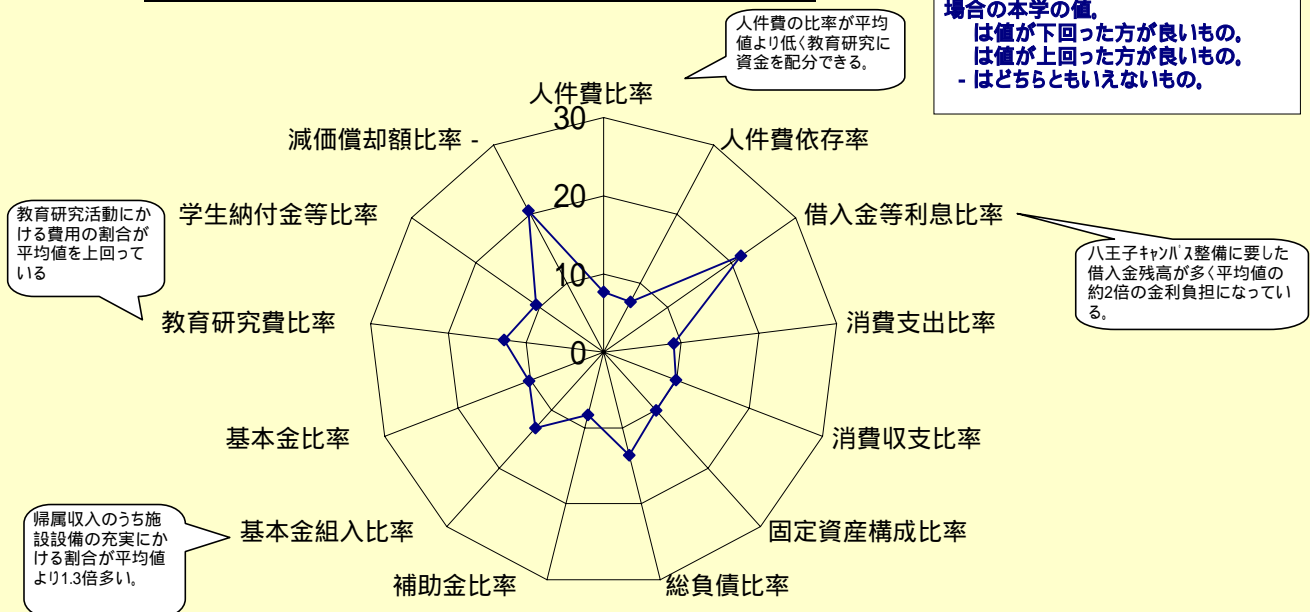
項目	算式	評価	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	芸術系平均値
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$		37.5%	41.1%	39.8%	39.6%	40.3%	38.9%	40.5%	52.6%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生納付金}}$		47.9%	47.3%	46.3%	46.2%	46.9%	45.2%	47.3%	64.9%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金利息}}{\text{帰属収入}}$		2.4%	2.5%	2.1%	1.9%	1.9%	1.7%	1.5%	0.7%
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$		66.6%	74.1%	73.6%	72.8%	72.6%	76.2%	82.3%	91.0%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$		97.4%	97.3%	94.8%	100.3%	145.3%	111.7%	115.8%	117.0%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$		72.4%	75.5%	74.1%	74.3%	77.6%	83.5%	87.1%	86.7%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$		24.9%	24.9%	21.6%	22.4%	20.8%	19.6%	18.5%	13.6%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$		7.1%	6.2%	6.5%	6.2%	6.5%	5.4%	6.6%	8.0%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$		31.6%	23.9%	22.4%	27.4%	50.0%	30.0%	29.0%	22.2%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$		96.1%	94.8%	96.0%	93.9%	95.7%	96.8%	97.9%	95.6%
教育研究費経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$		21.3%	26.6%	23.6%	26.7%	26.3%	29.2%	34.7%	27.1%
学生納付金等比率	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{帰属収入}}$		78.2%	86.9%	86.0%	85.8%	86.0%	86.2%	85.6%	81.1%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	-	14.8%	16.2%	15.7%	16.4%	17.6%	19.3%	25.2%	12.3%

財務分析

人件費比率 = 帰属収入に対する割合を示す重要な比率で本学は平均値を下回っている。
 人件費依存率 = 学生納付金に対する割合で一般的には低い方が望ましい。
 借入金利息比率 = 低い方が良い。本学は八王子キャンパス整備に要した借入金残高が大きく、平均値を上回っている。
 消費支出比率 = 人件費や管理経費、教育研究経費などで消費された比率で低いほど良く、自己資金は充実する。
 消費収支比率 = 消費支出の消費収入に対する割合で低い方が良いとされ、比率が100%を超えると支出超過(赤字)となる。
 固定資産構成比率 = 固定資産の総資産に占める割合で低い方が良い、比率が特に高い場合は流動性に欠けるとの評価。
 総負債比率 = 低い方が良い。総資産に対する他人資金の割合。50%を超えると負債総額が自己資金を上回る。
 補助金比率 = 学生納付金に次ぐ収入源であるが私立大学等経常費補助金(国庫補助金)は年々減少。
 基本金組入比率 = 高い方が良いとされる。資産の充実や将来計画により比率が増加。
 基本金比率 = 基本金組入対象資産である要組入額に対する組入済基本金の割合で高い方が良い。
 教育研究費比率 = 教育研究活動にかかる費用で高い方が望ましく、本学は平均値を上回っている。
 学生納付金等比率 = 帰属収入の中で最もウェイトが高く安定推移が良い。学費のみに依存せず他の収入増も検討。
 減価償却額比率 = 将来、資産の更新時に必要である。実質的には消費されずに留保される資金。

H17年度財務諸表比率【芸術系19法人比較】

芸術系19法人の平均値を10とした場合の本学の値。
 は値が下回った方が良いもの。
 は値が上回った方が良いもの。
 - はどちらともいえないもの。



5.法人の概要

設置する学部学科の名称および入学定員と学生数

【大学・学部】

キャンパス	学部	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員	学生数
八王子	美術学部	絵画学科	日本画	171	723	(151)
			油画			833
			版画			(541)
		彫刻学科		30	120	133
		工芸学科	陶	60	240	(81)
			ガラス			259
			金属			(88)
		グラフィックデザイン学科		146	631	751
		生産デザイン学科	プロダクトデザイン	70	280	(154)
			テキスタイルデザイン			339
環境デザイン学科		70	292	359		
情報デザイン学科	情報芸術	120	480	529		
	情報デザイン					
芸術学科		55	226	297		
	小計		722	2,992	3,500	
上野毛	造形表現学部	造形学科		40	160	190
		デザイン学科		100	400	466
		映像演劇学科		60	240	293
		小計		200	800	949
	合計		922	3,792	4,449	

カッコ内は専攻の内数

【大学院】

キャンパス	研究科	専攻	研究領域	入学定員	収容定員	学生数
八王子 及び 上野毛	美術研究科 (博士前期課程)	絵画専攻	日本画	60	120	130
			油画			
			版画			
		彫刻専攻		12	24	20
		工芸専攻		10	20	20
		デザイン専攻	グラフィックデザイン プロダクトデザイン テキスタイルデザイン コミュニケーションデザイン	18	36	71
	芸術学専攻		7	14	14	
	小計		107	214	255	
	(博士後期課程)	美術専攻		7	21	21
	合計		114	235	276	

	総計		1,036	4,027	4,725
--	----	--	-------	-------	-------

平成17年5月1日現在

所在地

法人本部・造形表現学部・大学院
〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34
美術学部・大学院
〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723
美術館
〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1

役員・評議員・教職員の概要

【役員】

理事長	藤谷 宣人
理事(学長)	高橋 史郎
理事	市川 保道
理事	岩井 弘安
理事	東海林 隆
理事	清田 義英
理事	竹田 光幸
理事	峯村 敏明
理事	米倉 守
監事	須田 八郎
監事	森 三千郎

【評議員】

評議員	五十嵐 威暢
評議員	石田 晴久
評議員	市川 保道
評議員	岩倉 信弥
評議員	大津 英敏
評議員	鈴木 康之
評議員	清田 義英
評議員	高橋 史郎
評議員	田口 敦子
評議員	竹田 光幸
評議員	鶴見 雅夫
評議員	中島 祥文
評議員	中村 錦平
評議員	橋本 京子
評議員	藤谷 宣人
評議員	峯村 敏明
評議員	本江 邦夫
評議員	森下 清子
評議員	山中 玄三郎
評議員	米倉 守

【教職員の概要(専任)】

大学教員	171名
職員	161名

平成17年5月1日現在